

資料

大江和彦

東京大学大学院医学系研究科

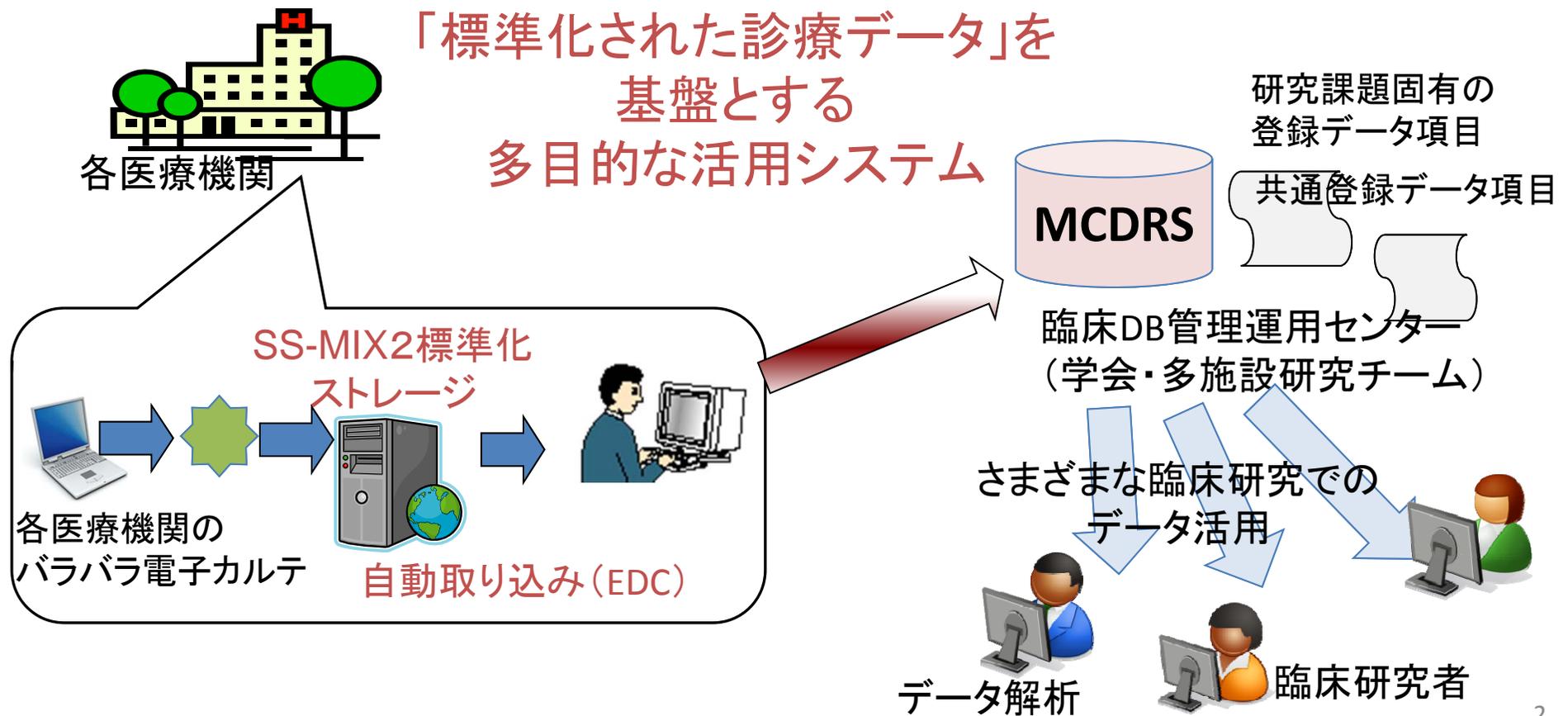
医療情報経済学／医療情報システム学

多目的臨床データ登録システム MCDRS

東大FIRST

厚労省臨床効果DB事業

(循環器疾患レジストリ拠点(自治医大、東大、国立循環器病研究セ、九州大等))



近将来に向けて今着手すべき 医療ITアプリケーションとその情報基盤の確立

医療ビッグデータ解析と人工知能により
健康安心社会を支える
医療知能情報サービスの実現

【出口イメージ】

- ・医師が経験したことのない複数の病気が合併した患者、稀な病気、滅多に見ない感染症の患者を、最短時間で診断でき最適の治療方針を提示する「医療者へのITサービス」
- ・氾濫する玉石混淆の医療情報とは一線を画した「一般家庭に信頼性の高い医療情報を提供」
- ・このシステムの蓄積データにより医療の初期判断において、「行政に早期に病気の発生状況を提示」
- ・24時間365日いつでも健康上の問題を相談できる「高齢者、在宅介護者や看護者への情報サービス」